一般質問
（要旨）

コロナワクチン接種について 帯状疱疹ワクチン接種について

公明党昭島市議団　渡辺　純也　議員

質問　新型コロナウイルスに打ち勝つためのワクチン接種について、①4月から段階的に始まる高齢者への接種において、優先順位を決め、グループ分けを行うべき。②自力で接種会場に行くことができない方を確実に把握し、個別での接種体制を整えるべきだが、考えは。③総合相談窓口のほかに、副反応に関する専門的な相談ができるコールセンターを市独自で設けるべき。④優先接種の対象にタクシー運転手、ごみ処理業者、警察署員を加えるよう国に要請すべき。

答弁　①国の対応を注視し、柔軟に対応していく。②一定の基準を設け、接種を希望する方の自宅等へ医師、看護師が訪問し、接種を行えるよう検討を進めていく。③専門職の確保が大きな課題であり、医学的な相談等には、国や都の窓口を案内していく。④実施時期が迫る中、難しい側面もあるが、機会があれば、指摘された点も踏まえ、検討していく。

質問　帯状疱疹（たいじょうほうしん）ワクチン接種について、費用が安価でないことから、助成制度を設けている自治体もある。昭島市でも、ワクチン接種に対する助成制度の創設を。

答弁　国の定期予防接種化の検討状況を注視し、どのような取り組みが可能となるのか、検討していく。

質問　訪問診療等に使用する車両の訪問先の駐車場所の確保が課題となっている。公共施設の駐車場を利用できるようにしては。また、民間事業者に働き掛け、駐車スペースの確保を。

答弁　各施設等の駐車台数に限りがあり、実施は難しいが、提案された方法も含め、どのような取り組みが可能か調査・研究していく。

女性の生きやすいまちづくりについて問う

みらいネットワーク　林　まい子　議員

質問　女性・女子中高生の自殺やDV相談件数が増加する中、女性も生きやすい社会の実現に向け、①望まない妊娠を減らすための性教育の取り組みは。②産前産後支援について、子育て世代包括支援センターがサロンや民間の親子向け施設と連携する考えは。③フレッシュパパ・ママ学級でパートナーの育児参加を促すため内容の充実を。

答弁　①若年層への取り組みについて、学校現場と連携しながら強化していく。②地域で活動する方と連携しながら、相談などの事業に取り組んでいく。③父親同士の交流の場の提供など父親となる日を安心して心待ちにできる講座の開催に努めていく。

質問　子どもの生きる力や地域を育む学校給食に向け、①共同調理場第一調理室の調理業務の民間委託について、委託後も給食の内容を維持していくための工夫は。②地場野菜の納品に対する農家側の課題を把握し、連携して改善する考えは。③学校給食から、既存の減農薬推進事業を拡充する考えは。④学校敷地や近隣農地、生産緑地を活用し、地元農家や地域の方々と一緒に生きた食育を進める考えは。

答弁　①調理業務に特化した委託であり、昭島の給食の味や伝統的なメニューなど、内容は変わらない。②令和2年度は自校給食校で地場野菜を使用した。今後も意見交換を行う中で課題解決を図り自校給食校で使用機会を増やしていきたい。③市内農業者の経営方針に基づき実施される減農薬事業を支援していく。④学校敷地での栽培や生産者から話を聞くなど各学校で様々な学習をしており、生きた食育は重要と考えている。

きれいに咲きました
（環境コミュニケーションセンター）

令和3年度施政方針について

無会派　南雲　隆志　議員

質問　令和3年度施政方針について、①基本的な方針・方向の考え方は。②3年度予算で10億円以上の財政調整基金を取り崩すが、どのように財政を見直していくのか。③清掃センターの今後はあらゆる可能性を排除せず取り組むとのことだが、考えは。

答弁　①新たな時代の要請に対する諸課題への対応をはじめ、市民が安全・安心かつ心豊かな生活を送れる施策の展開に努める。②基金と市債のバランスに配意し、中長期的な視点で持続可能な財政運営に努める。③基本調査の実施等により検討を加速し、具体化していきたい。

質問　中神土地区画整理事業について、①55年以上の調査会において本事業の在り方について検討をしており、その答申等を踏まえ、施行者として今後の方針を決定し、まちづくりを進めていく。

質問　新型コロナウイルス感染症対応の諸課題について、①コロナ禍での災害時における避難所対応は。②ワクチン接種における市独自の予約システムの内容は。

答弁　①感染症対策資器材の導入や各小中学校での避難所開設訓練を実施した。今後、訓練の結果等を踏まえマニュアルの見直しを図っていく。②コールセンターによる電話予約とインターネットで簡単に予約できるシステムを準備している。

少子高齢化に向けての取り組みについて

令和昭島の会　小林　こうじ　議員

質問　少子高齢化が加速する中、人口減少を抑え、社会保障制度を持続可能にしていくことが重要である。市の現状について、10年前と比べた14歳以下と65歳以上の人口割合は。

答弁　令和3年1月1日現在で、14歳以下は12.3％で0.6ポイント減、65歳以上は26.4％で6.0ポイントの増となっている。

質問　住んでみたいまちづくりに向け、①恋のツバサ協議会による事業が終了した後の結婚支援の取り組みは。②保育園の待機児童解消に向けての取り組みは。③創業支援した店を広報のツールで紹介することにより、市のPRにつなげては。

答弁　①他市の取り組みを参考に、効果的な結婚支援について研究していく。②施設整備をしてきており、引き続き、既存施設の改修を中心とした待機児童の解消に取り組んでいく。③動画などを使用した取り組みについて考えていきたい。

質問　インターネットを活用した取り組みについて、①ユーチューバーや有名な地元出身者とのコラボレーションにより、昭島の魅力を伝えては。②拝島駅の自由通路にストリートピアノを設置し、動画などで楽しいまちをPRしては。

答弁　①年代層ごとにターゲットを絞ったアプローチや期待する効果の検証方法を明確にして実施すべきで、他市の取り組みなどを研究していく。②効果は期待されるが、現状では設置に困難性がある。

質問　少子高齢化に向けた課題に対し、どのように取り組んでいくのか。

答弁　まずは少子化の緩和に努めなければならないと考える。引き続き、子育てしながら働きやすい環境づくりに努めていく。

会議録をホームページで閲覧できます

会議録検索システムにより、平成7年5月から令和3年1月までの本会議会議録、委員会記録、協議会記録をご覧になれます。

なお、令和3年第1回定例会の記録は5月下旬に更新する予定です。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

令和2年度予算の補正状況

一般会計（第10・11・12号）

当初予算	432億5800万円
前回までの補正額	146億6980万円
専決補正額（第10号）	7960万円
今回補正額（減額）（第11号）	1億4140万円
今回補正額（減額）（第12号）	8370万円
予算総額	577億8230万円

介護保険特別会計（第2号）

当初予算	92億7746万1千円
前回補正額	1億7935万3千円
今回補正額	2億　944万3千円
予算総額	96億6625万7千円

国民健康保険特別会計（第3号）

当初予算	118億6000万　円
前回までの補正額	2億2986万8千円
今回補正額	1億4425万3千円
予算総額	122億3412万1千円

後期高齢者医療特別会計（第2号）

当初予算	25億1739万　円
前回補正額	4348万6千円
今回補正額	7194万　円
予算総額	26億3281万6千円

中神土地区画整理事業特別会計（第2号）

当初予算	3億1100万3千円
前回補正額	138万2千円
今回補正額（減額）	9650万　円
予算総額	2億1588万5千円

令和3年度予算の補正状況

一般会計（第1号）

当初予算	431億4500万円
今回補正額	8億2060万円
予算総額	439億6560万円